

— JBICバイオ関連基盤技術研究会開催のお知らせ —
【オンラインJBIC研究会】

第 38 回テーマ「ファージ療法を用いたマイクロバイーム制御」

JBIC では、これまでのプロジェクトの研究成果と企業のニーズを踏まえ、バイオ関連基盤技術について幅広い分野を対象とした研究会を開催し、参加者間で今後の取り組むべき方向性等を議論できる会にしたいと考えております。今回も Webex システム (<https://www.webex.com/>)によるオンライン形式での開催とします。

前回はファージ療法の概要についての講演でしたが、今回はマイクロバイーム制御との関連を題材にしました。マイクロバイーム、特に腸内細菌叢は、炎症性腸疾患等免疫応答が関与する疾患との関連が示されており、マイクロバイーム制御による治療法の開発も行われています。いくつかの疾患患者便のマイクロバイーム解析により、患者での細菌叢の多様性低下(ディスバイオーシス)が確認され、疾患原因菌同定のための研究も行われています。疾患原因菌が同定された場合、特定の菌種の除去が望まれますが、抗生物質の使用は有用細菌も殺しディスバイオーシスを促進し、病状の悪化を招く可能性もあります。バクテリオファージは細菌に対し、種レベルでの高い特異性を持ち、ファージ療法による特定の細菌除去が期待されています。

今回の演者である大阪公立大学 植松 智 先生は、腸管免疫の研究や腸内細菌・ウイルス(ファージ)叢のメタゲノム解析をベースに腸管常在微生物を標的とした種々の疾患制御の研究開発を進められています。今回は、腸内ファージのゲノム解析法の確立、それを基盤とした腸内共生病原菌(pathobiont)を制御するファージの同定等について、「腸内ウイルス叢のメタゲノム解析と治療応用 ～Viral Dark Matter への挑戦～」と題し、ご講演いただきます。

多くの方のご参加をお願いいたします。

- 日 時 2022 年 4 月 19 日(火) 13:30—14:30
- 開催方法 Webex オンラインミーティングシステムによるオンライン講演
- 会 費 無料
- 定 員 150名(先着順)
- 共 催 一般社団法人日本マイクロバイームコンソーシアム JMBC

今回は、一般社団法人日本マイクロバイームコンソーシアム(JMBC)にご協力いただき、同コンソーシアムとの共催で開催いたします。オンラインミーティングシステム接続数が限られていますので、お早めに登録されますよう、お願いいたします。

■ プログラム

13:30—14:30

腸内ウイルス叢のメタゲノム解析と治療応用

～Viral Dark Matter への挑戦～

大阪公立大学大学院医学研究科・医学部ゲノム免疫学 教授

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター メタゲノム医学分野 特任教授

植松 智 先生

■ 参加登録

本研究会はJBIC会員及びJMBC会員限定です。

登録web サイト【参加申込み登録フォーム】は、会員各社のご担当に連絡しております。

受付期間 2022年3月16日(水)～2022年4月15日(金)

登録いただきましたメールアドレスに、4月18日(月)までにオンラインミーティング接続URLと接続方法をお知らせいたします。

【参加登録事項】

- 参加者氏名:
- 参加者氏名(フリガナ):
- 企業・機関名:
- 企業・機関名(フリガナ):
- 部署名:
- メールアドレス:

1社から複数の方にご参加いただきましても結構です。

<お問い合わせ>

一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC)

戦略企画本部 担当:高嶋

〒135-8073 東京都江東区青海2-4-32TIME24ビル10F

電話: 03-5531-8553(直通) FAX: 03-5531-1560